

名和内科・巢南リハビリセンター 広報誌「清」^{さや}

SAYA

2021 SEPTEMBER Vol.4



巢南デイサービスセンター・スタッフ／送迎ドライバー

岐阜清流病院 広報誌「清」^{さや}

SAYA

2021 SEPTEMBER Vol.4



岐阜清流病院・地域医療連携センター

「黄金の国ぎふ」

医療×まちおこし それぞれの地域活性を語る



撮影場所：都ホテル 岐阜長良川 帝王階段

インタビュー動画はこちら



岐阜清流病院 事務部長 藤村 一行

1978.4 地元金融機関に就職
2016.4 医療法人清光会に事務次長として入職
2018.4 岐阜清流病院開設と同時に事務部長として就任。現在に至る。

- 仕事に対する目標…清光会の経営理念にあります医療・介護を通じ、地域の皆さんに「笑顔あふれる暮らし」をお届けします。
- 趣味…全国の祭りを体験したくてコロナ感染前は各地にお出かけしていました

ラデッキ株式会社 岐阜ご当地タレント やながせ ゆっこ

岐阜市観光宣伝隊/本業市もとまる戦略大使/岐阜市信長公450応援大使/柳ヶ瀬商店街公認マスコットガール/岐阜大学大学院 地域科学研究所 首席修了/岐阜大学講師/駒澤大学講師/防災士/日本遺産ガイド/元やなな秘書

- 本人PR 生まれも育ちも岐阜県岐阜市♪幼稚園から大学院まで岐阜市内、頭のとっぺんから足の先まで岐阜で生まれています!ご当地タレント9年目に突入り!これからも大好きな岐阜を全力で盛り上げます! 笑顔いっぱいゆっこー!!!

ラデッキ株式会社 代表取締役社長 佐藤 徳昭

ひとひとの会 代表/岐阜大学講師/駒澤大学講師/岐阜大学地域協学センター現地コーディネーター/本業市もとまる事業戦略プロデューサー/笑顔の花びら集めたい顧問/濃姫まつり実行委員会会長兼プロデューサー/地域振興/CS(顧客満足)/キャラクターマネジメント/イベントマネジメント/PR手法/地域活動への学生の巻き込み/可興イベントアドバイス/専門分野とした、講師の派遣依頼など。

第4回の岐阜清流病院広報紙SAYAの対談は、ラデッキから佐藤徳昭代表取締役社長と、岐阜ご当地タレントのやながせゆっこさん、そして岐阜清流病院から藤村二行事務部長をお招きして、「地域活性」をテーマにお話を聞かせていただきます。

ゆっこ(以下ゆ) この時は、「ゴールデンウィークにゴールデンウォーク」ということで、タイトルに洒落も効かせていたんです。

佐 そうそう。ちょうどこの時期の金華山はツブラジイの花が咲いて金色に輝くんです。つまり、ゴールデンウィークに岐阜に来ると全ての金が増える。そんな感じで始めたところ、人づてにどんどん話が広まって、金神社さんには問い合わせが殺到しました。で、金神社さんからご連絡があり「金の御朱印、一般の参拝客にもお出ししている?」と尋ねられたので、「月に一度だけの限定にしてください」とお願いしました。

ゆ その後すごい行列ができるようになり、最長7時間半以上並ぶこともありました。
佐 徐々に人が増えていき、新型コロナ直前には平日にも関わらず1日で9,000人を超え(12日)に換算すると10万人を超える数字となり、岐阜の観光の目玉であり、約5か月間開催をしている長良川鶴橋と肩を並べるようになります。この場所も、いきなり大勢の方を受け入れることは無理なので、こちらからオペレーションのアドバイスをさせていただいた

り、動員数の推移を見ながら新聞からテレビへと戦略的に宣伝してきました。一過性のイベントでは本当の地域活性に繋が

りませんからね。現在は、スポットを広げて岐阜県全域で20カ所に増えました。

ゆ 市から県に範囲を広げたことで、御朱印のついでに、食事をしたり、お土産を買ったり、他のスポットに足を運んだり、経済効果も大きくなっていくと思います。

——岐阜清流病院でも「地域貢献」が病院の重要なテーマになつていると伺っています。
藤村(以下藤) もともと私たち岐阜清流病院が開業に至りましたのは、地域住民の皆様からの要望によるところが大きいのです。ですから地域の方にとって敷居の高い病院ではなく、近所のスーパーマーケットのように気軽に受診ができる病院を目指しています。目配り・手配り・気配り・心遣いに気をつけながら、全職員で努力を重ねています。

ゆ 病院つてやっぱり緊張しますよね。自分の体のことも心配だし、先生のお話がちゃんと理解できるかしらとか、どうしても敷居が高く感じられてしまうものです。でも、今のお話を聞くと岐阜清流病院さんにはおもてなし精神があるのかなと感じました。安心して受診できますね。

藤 ありがとうございます。病院では医師や看護師の他にもリハビリ、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、社会福祉士など、患者さん一人に対し

て様々な職員が関わっています。そのため、当院では「コーチング」という手法を取り入れ、患者さんの身体的、精神的な苦痛や不安、あるいは経済的な不安を取り除くためのフォローアップもさせていただいています。

ゆ マスクからこぼれる藤村さんの笑顔から、患者さんへの真摯な思いが伝わってきました。
——それぞれの業界における活動の中で、苦勞されたことや嬉しかったことなどをお聞かせいただけますか?
佐 御朱印については、協力をお願いするのがお寺や神社になります。宗派なども違います。話する時にはやはり気を遣いますね。あそこがやるならうちも遠慮しますとか最初は少し生々しい話もありました。

ゆ 笑
佐 ただ、そんな感じは最初だけで、地域おこしについて熱く語らせていただきますと皆さんも前向きに検討していただけることが多いです。また、藤村さんのお話にあった病院と同じように、「一般の方にとって、お寺や神社はやっぱ少し敷居が高いイメージがあるようなんです。そんなとき、ゆっこが宮司さんや住職さんと仲良くお話ししているところをSNSで発信するなど、馴染み易くする工夫もしています。この部分は大変ではあるけれど非常にやりがいがあるところです。

ゆ 本当にそうですね。私は行列の待ち時間を利用して岐阜の紹介をしています。その中で神社の歴史とか由来などを尋ねられることが多くなり、最近は事前に勉強することが多くなりました。大変ですけど、今は、それもすごく楽しいですね。

ゆ 本当にそうですね。私は

地域の待ち時間を利用して岐阜の紹介をしています。その中で神社の歴史とか由来などを尋ねられることが多くなり、最近は事前に勉強することが多くなりました。大変ですけど、今は、それもすごく楽しいですね。

藤 なるほど。お二人のように地域に対して分かり易く説明をしていくことは本当に大切なことですね。岐阜清流病院の隣には中学校がありますので、当院でのコロナ患者を受け入れるにあたり、学校に対しても丁寧に説明をさせていただきました。生徒さんが通う道に救急車が止まったり、もしくは病棟が見えたりすれば心配されるのは当然のことですからね。中学校からは、逆に温かい応援メッセージを頂きまして、我々医療従事者は大変励まされたことを覚えていきます。それから、去年の2月に当院でクラスターが発生しました。この時は、保健所等から懇切丁寧な指導をお受けして、改善に努め、その後は発生していません。しかし、そのことについては、この場を借りてお詫びしたいと思っています。

——それぞれの業界での「地域活性」について、今後の展望などありましたらお聞かせいただけますでしょうか?
佐 黄金の国ぎふプロジェクトでは、今は金の御朱印にスポッ

トを当てていますが、御朱印

がやりたいわけではないんです。真の目的は岐阜が本当に黄金に輝くパワースポットだという認知を広げることでまちおこしをしていくことなんです。つまり、金の御朱印を最初の目的として集まってもいいながら、黄金の湯とか、黄金懐石とか、黄金スイーツなど民間にある金にまつわる商品やサービスが一緒に売れて、地域連携の中で経済が回っていくようなまちづくりをやっていると思っています。

ゆ 本当にそうですね。私としては、岐阜に住む人たちが場所のひとつひとつにスポットライトを当てて、魅力を引き出し、繋げていくサポートをした

と思っています。
藤 なるほど、地域連携というのも重要なポイントですね。その意味では岐阜清流病院にもアイデアがあります。岐阜清流病院にはリハビリ職が約60名おりますが、東南リハビリセンターとコラボして「予防」という観点で地域貢献するための計画を進めているところなんです。また、この記事が出る9月頃には、女性を主体としたチームを作りまして、女性ならではの健診体制の要望にも応えたいと考えています。
ゆ 業界が違っても岐阜を思う気持ちは同じですね。みんなが岐阜を盛り上げてゆっこー!!!

TEAM SEIKOUKAI

清光会グループで活躍中のスタッフを紹介します！



◆地域と病院の架け橋

地域医療連携センターの役割は以下のとおりで、患者さんご本人やご家族など、どなたでもご利用いただけます。

- 地域の医療機関との連携
- 入院、退院に関する相談、連携
- 行政機関との連携
- 地域の介護施設、事業所との連携
- 入所施設等からの入院相談
- 高齢者施設の入所相談
- 介護保険等に関するサービス利用の相談
- 当院での検査予約窓口
- 外来通院及び入院中の患者さん、ご家族の相談窓口

当院は、気軽に来院していただける敷居の低い病院です。その窓口となり、皆さんの声に耳を傾け、お話しさせていただくことが地域医療連携センターの役割です。

◆こんなときどうしたら？という時のお助けマン

いざ自分が…家族が…病気になったとき、分からない事だらけでお困りではないですか？入院したときは「入院費や治療費の支払いは大丈夫かしら」、退院するときには

「車椅子を借りたい」、「デイケアに通いたい」など。そのような時に登場するのが【医療ソーシャルワーカー】や【退院調整看護師】です。身体のこと、経済的なこと、生活のこと等、様々なお困りごとに対してお話を伺い、各機関との連携、調整をさせていただきます。もちろん、外来通院されている患者さんもお相談していただけます。

【医療ソーシャルワーカー】は、医療機関における福祉専門職です。社会福祉の立場から、患者さん・ご家族の抱える様々な問題の解決・調整を支援します。相談内容は多種多様ですが、最近はコロナ禍の影響で「経済的なこと」が多い印象です。他にも介護保険利用についてのご相談も多く、ケアマネジャーや地域包括支援センターと連携しています。

また、退院時に病院で行っている医療行為を自宅で引き続き行いながら生活される方、最後のときをご自宅で過ごしたいとお考えの方もいらっしゃいます。その際、【退院調整看護師】がその人の思いを大切に元の生活場所に戻れるよう一緒に考え、在宅医や訪問看護師、ケアマネジャーと連携して支援させていただきます。

このように私たちは、患者さんが住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、地域医療連携センターだけでなく病院全体で取り組んで参ります。

「看護師になりたい！」

幼い頃から看護師になることが私の夢でした。

病院的待合室の何ともいえない空気やアルコールの匂い、看護師さんのナースシューズの音。子どもの私には病院は怖いという場所ではなく何かワクワクする場所だったように思います「いつか私も看護師になって働くんだけ！人の役に立ちたい。」と思ったあの日を今でも忘れません。

あの日から十数年経った今、私は名和内科での外来勤務と医療型サービス付高齢者住宅（サ高住）で訪問看護師として働いています。私は名和内科で働く前までは外来勤務の経験がなく、働き始めた当初はとても不安があり緊張感の中勤務していました。そんな中、先生をはじめ先輩看護師の方々、事務の方々が優しくたくさんのお話を教えていただきました。そのおかげで少しずつではありますが、余裕をもって、看護を提供することができるようになりました。

名和内科には様々な病気の患者さんが、病気による苦痛、不安や恐怖などを抱えて来院されます。そのような患者さんに接するときに常に心掛けていることは、相手の立場に立ち、そしてその気持ちに寄り添うことです。

業務に追われる中でも、「自分が受診する立場だったら…」

「私の家族が受診する立場だったら…」と想像しながら看護にあたることで、患者さんに寄り添った看護を実践することができています。

また、患者さんの中には症状や経過が良好でその事を報告に来てくださる方もいらっしゃいます。患者さんの嬉しそうな表情を見ると私も嬉しく、仕事のやりがいを感じます。名和内科の患者さんが苦しいことも、嬉しいことも話することができる、アットホームな雰囲気が私はとても好きです。

サ高住の訪問看護では、入居者さんの希望やニーズに従い、サービスを提供します。そこで必要となるのが、看護師だけでなく介護士やリハビリスタッフなどとの連携です。多職種で入居者さんに関わることで、安全安楽な環境やより良いサービスの提供ができています。日々、多職種と話し合いを重ねることで看護の視点では気付けなかった事が多くあることを実感しています。入居者さんが穏やかな生活が送れるようチームワークを大切にこれからも勤務をしていきたいと思っています。

看護師と一口にいっても働く現場は様々です。しかし、病院、施設、訪問看護、どの場所でも「人の役に立ちたい」という思いは一緒です。この思いで私は今日も明日も丁寧に仕事をしたいと思っています。

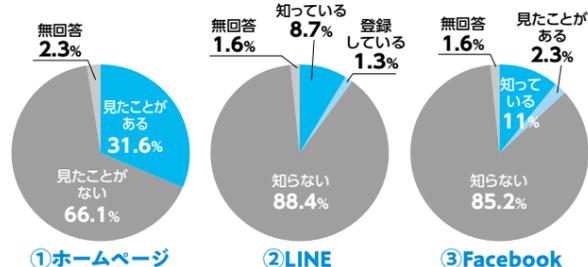


2021年6月 接遇・サービス広報委員会

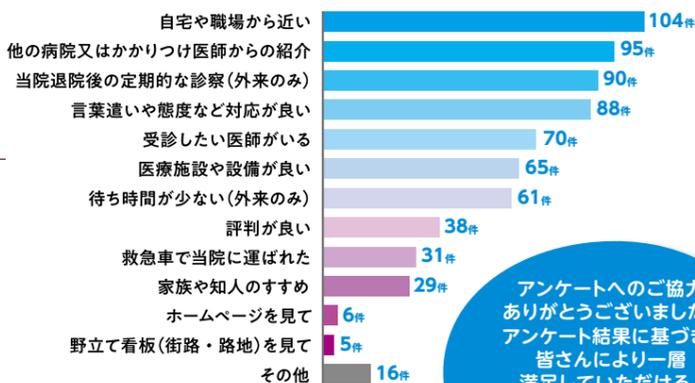
岐阜清流病院 外来・入院患者さんに アンケートを実施しました

当院では『笑顔あふれる暮らし』をお届けする』という理念のもと、職員一同サービス向上を目指しております。2021年6月、アンケート調査を実施しました。ご協力いただきました外来・入院患者さんにお礼を申し上げますとともに結果の概要を公表いたします。

Q 当院のホームページやSNSを知っていますか？

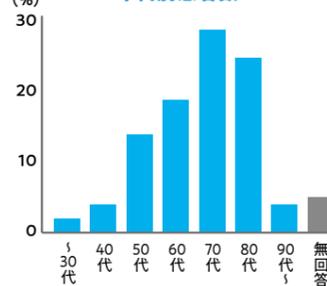


Q 当院を選択された理由は何ですか？



アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果に基づき、皆さんにより一層満足していただける、魅力ある病院を目指して努力してまいります。

年代別患者数



2021年9月

地域交流施設『清流ぷらす』 9月1日、ついにopen!しました

『清流ぷらす』は、地域包括ケアシステムの実現に向けて、「まちづくり」に参画します!!

国の施策では、「自分たちのまちは、自分たちで支える」といった『共助』の関係作りが求められています。それは、地域で暮らす高齢者を自治会や老人クラブ、ボランティアさん等の「地域の力」で支えていくということです。しかし、現実的には、なかなか難しいことだと思われます。そこで、『清流ぷらす』では、当法人が持つ医療介護の強みを活かして、地域を支えるお手伝いをさせてもらいながら、「まちづくり」にも参画していきたいと思っております。



まずは、ここから...

サロン(集いの場)の運営

施設の近隣地域は、瑞穂市においても、特に高齢化が進んでおり、独居で暮らす高齢者の方も多くお聞きしています。まずは、そのような方々の居場所を作り、身体だけでなく、心の健康にも繋がるような取り組みをしていきたいと思っております。そして、この「集いの場」の運営を通じて、地域の課題やニーズを知り、「まちづくり」の次のステップへ繋げていきたいと考えています。

【開催時間】月～金曜日 9:30 am～11:30 am

地域交流施設『清流ぷらす』 瑞穂市別府1227-1(瑞穂市総合センター東に徒歩3分) TEL:058-216-6360 担当:坪内

SEIRYU HOSPITAL

眼科 くらむ。



白内障について 元気なうちに白内障手術を

眼科医2名で
手術を行います



▲白内障手術の様子

白内障は、誰でも発症する身近な疾患です

- 70歳以上では、80%以上が白内障
- 徐々に進行し、最悪失明する事もあります
- 手術で治す事が出来ます

当院眼科でも**白内障手術が可能**です(当院では1泊又は2泊の入院)

- ▶価格…3割負担 ⇒ 片眼：約6万円 両眼：約12万円
- 1割負担 ⇒ 片眼：約2万円 両眼：約4万円

白内障手術にも、手術に踏み切る適切なタイミングがあります。適切な時期を過ぎると合併症のリスクが増したり、手術をしたくても通院出来ないなどの理由で手術が受けられない事態にもなりかねません。元気なうちに、適切なタイミングで手術を受けられる事をお勧めします。

まずは、眼科を受診し、ご自身の眼の状態を知る事から始めましょう。少しでも不安を感じたら眼科にご相談下さい。

(執筆:眼科専門医 桑山みどり)

2021年8月

医療型サービス付き 高齢者向け住宅 巣南 「久しぶりの夏祭り～プチ縁日～」

名和内科併設の高齢者住宅でお盆も過ぎた8月22日に「プチ縁日」と称して小さな祭として数種類のゲームと、カキ氷のレクレーションを行いました。会場の、夏祭りをイメージした提灯の下、参加された入居者の皆さんは「できるかしら?」「わあ入った!」「当たった!倒れたー!」と、手作りの輪投げや射的、そしてビンゴゲームを笑顔で楽しみました。午後のおやつの中にはカキ氷と一緒に食べて「冷たい!」「美味しい...!」と普段見られない表情で喜ばれる方もみえ、準備した職員もとても嬉しい気持ちになりました。

